

絶縁手袋

三恵工業

絶縁手袋を専門に手がける三恵工業(埼玉県八潮市、中村貞之社長)は、自動車整備向けに3種類の絶縁手袋をラインアップしている。交流300V以下・直流400V以下の「IG300」、

自動車整備向けに3種類

下の「IG300」、交流600V以下・直流750V以下の「IG600」、交流300V以下・直流750V以下の「IG750」で、ともにウレタンと合成ゴムを重ねることで、薄くて使いやすさを考慮しているのが特徴だ。

リウレタン樹脂は耐油性、耐寒性に優れ、酸、アルカリといった電解液にも侵されにくい。さらに手袋上部には滑り止め層を施し、3層構造としている。

厚さは「IG600」と「IG750」が0.5ミリの薄型、「IG300」では約0.4ミリの超薄型となっており、フィット感を高めると同時に小さな部品の交換などにも対応しやすくした。

HV、EVの整備では感電防止機能が当然で、これに加え「耐油性」「耐電解液性」「軽量・薄型」「ゴムアレルギーなし」が求められている

感電防止はもちろんな 耐油性など高い機能

自主検査が必要となるが同社は検査の代行も受け付けている。手袋の管理を出荷後も行えるよう、1双ごとに異なる識別番号を印字し、出荷直前耐電圧試験成績書を添付して納品している。

現在、全国展開するロードサービスの団体にも採用されるなど信頼性は高い。

厚生労働省の型式検定対象製品であるIG600は、ユーザーにおいて6カ月ごとに定期

